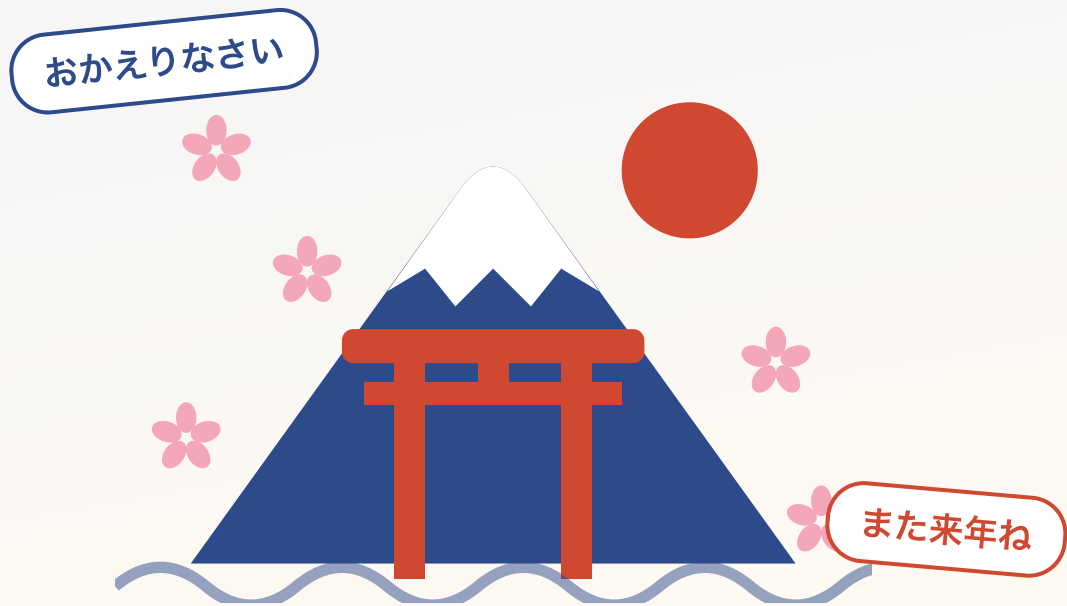




お盆

ご先祖様をむかえる、夏の行事



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

お盆の基本	3～5
お迎えの準備	6～7
送り火と踊り	8～9
お盆と暮らし	10～15
もっと知ろう	16～22
まとめと発信	23～30

Lesson
1

お盆ってなに？

お盆がどんな行事か、まず知ろう。

お盆（おぼん）は、毎年夏に、ご先祖様の霊（れい）をお迎えして、感謝の気持ちを伝える行事です。

多くの地域では8月13日から16日ごろに行われますが、7月に行う地域もあります。



お盆

おぼん／Obon

ご先祖様の霊をお迎えする、夏の行事

ご先祖様

ごせんぞさま

家族や親族の、亡くなった人たち

ポイント

- お盆は、仏教の「盂蘭盆会（うらぼんえ）」という行事がもとになっているといわれています。
- 日本にもともとあった、ご先祖様をうやまう心と結びついて、今の形になったと考えられています。
- 宗教にかかわらず、家族や親族が集まり、故人を思う機会として大切にされています。

やってみよう

1. あなたの家では、お盆に何か特別なことをしますか。

ワンポイント お盆は、はなれて暮らす家族が集まる、大切な機会にもなっています。

書いて覚えよう

お盆の最終日には「送り火（おくりび）」をたいて、霊があのかへ帰る道を照らします。

おがらという、麻（あさ）の茎を、素焼きの皿の上で燃やすことが多いよ。

- 火を使うときは、必ず大人といっしょに、安全な場所で行いましょう。
- 地域や家庭によって、迎え火・送り火をしないこともあります。

4

きゅうりとなすで作る、精霊馬の意味を知ろう。

しょうりょううま

きゅうりとなすに、あしを付けて作るお盆の飾り

- きゅうりで作る馬は、ご先祖様が早く家に帰ってこられるようにという願いがこめられています。
- なすで作る牛は、ご先祖様がゆっくりあの世へ帰るようにという願いがこめられているといわれています。

1. きゅうりとなすに、大人といっしょに、つまようじで足を付けてみよう。

ワンポイント 地域によっては、精霊馬を作らない、または別の野菜を使うこともあります。

盆だな・お墓参り

ご先祖様をお迎えする場所と、お墓参りのならわしを知ろう。

盆だな（精霊棚）

お盆の間、ご先祖様の霊をお迎えするための「盆だな」を用意する家庭があります。位牌（いはい）を中心に、花や果物、精霊馬などをかざります。

ポイント

- お墓参りでは、お墓のそうじをして、花や水、線香を供えます。
- 地域や宗派によって、飾り方やお参りのしかたはさまざまです。

やってみよう

1. 家族にお墓参りの思い出があるか、聞いてみよう。

書いて覚えよう

お盆の食べ物

お盆に食べられる、行事の食べ物を知ろう。

お盆だんご

ご先祖様へのお供え物や、家族で食べる甘いだんご

そうめん

涼しく食べられる、夏らしい行事食

精進料理

肉や魚を使わない、野菜中心の料理

ポイント

- お供え物は、家族で分けて食べることが多く、ご先祖様と一緒に食事をする意味があるといわれています。

やってみよう

- あなたの家のお盆の食べ物を、1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

盆踊りの意味と、地域の踊り歌を知ろう。

灯籠流し・大文字の送り火

火や灯りで、ご先祖様を見送る行事を知ろう。

灯笼流し

紙や木でできた灯籠を川や海に流し、
霊を見送る行事

京都の五山の送り火

「大」などの文字の形に、山であかり
をともし行事

精霊流し

飾りをつけた船で、霊を見送る地域の
行事

ポイント

- どの行事も、火や灯りで、ご先祖様があの世へ帰る道を照らすという意味があるといわれています。
- 環境への配慮から、灯籠流しのやり方が変わってきている地域もあります。

ワンポイント 京都の大文字の送り火は、毎年8月16日の夜に行われる、お盆の終わりを告げる行事として知られています。

書いて覚えよう

お盆の過ごし方は、地域によってさまざまです。

地域	お盆の特ちょう
沖縄	旧暦にもとづいて行われ、エイサーという踊りでも知られる
京都	五山の送り火が、お盆の終わりの風物詩
東北など	盆踊りが盛んな地域が多い

ポイント

- 同じお盆でも、時期や行事の内容は地域によって大きくちがいます。

書いて覚えよう

旧盆と新盆

お盆の時期が地域によってちがう理由を知ろう。

ポイント

- 多くの地域では、8月13日から16日ごろに行う「月遅れ盆」が一般的です。
- 東京や横浜、金沢など、一部の地域では7月13日から16日ごろに行うこともあります。
- 沖縄などでは、今も旧暦にもとづいてお盆の日づけを決めています。

よび方

時期

7月盆（一部地域）

7月13日～16日ごろ

月遅れ盆（多くの地域）

8月13日～16日ごろ

旧盆（沖縄など）

旧暦にもとづき、毎年時期が変わる

書いて覚えよう

帰省の文化・家族の集まり

お盆は、家族が集まる大切な時間でもあります。

帰省（きせい）とは

お盆の時期には、はなれて暮らす家族が、実家やふるさとに帰る「帰省」をする人がたくさんいます。お墓参りや食事を通して、家族や親族が顔を合わせる機会になっています。

Emma

お盆はみんな帰省するの？



Ken

うちは毎年、祖父母の家に集まって、みんなでご飯を食べるよ。

やってみよう

1. お盆に家族で集まることがあれば、どんなことをするか書いてみよう。

書いて覚えよう

お盆の休み

お盆休みという習慣について知ろう。

ポイント

- 多くの会社や学校が、お盆の時期に合わせて休みになります。
- この休みを利用して、旅行や帰省をする人が多いです。
- 「お盆休み」の期間は、会社や地域によってちがいます。

やってみよう

1. あなたの家族に、お盆休みがあるか聞いてみよう。

書いて覚えよう

お盆をいろいろ、さまざまな飾りを知ろう。

盆ちょうちん

故人やご先祖様の霊を照らすともしび

ほおずき

赤い実の形が、灯りに見立てられる飾り

盆花

菊やききょうなど、お供えに使われる
花

ポイント

- 白いちょうちは、亡くなってはじめてむかえるお盆に用いられることが多いといわれています。

ワンポイント 飾りの種類や意味は、地域や宗派によってちがいます。

書いて覚えよう

お盆を通して、命のつながりについて考えよう。

- お盆は、今の自分につながる、たくさんのご先祖様に思いをはせる機会でもあります。
- 感謝の気持ちを言葉や行動で表すことも、お盆の大切な過ごし方のひとつです。

1. 家族にご先祖様の話を聞いて、心に残ったことを書こう。

ワンポイント むずかしく考えなくても、家族と一緒に食事をしたり、思い出話をしたりするだけでも、お盆らしい時間になります。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう

お盆の行事を、写真や映像で見てみよう。

見てみたいもの

盆ちょうちん

精霊馬

京都五山の送り火

盆踊りの輪

図書館の本や、動画などでも見ることができます。

やってみよう

1. お盆の行事の写真や動画を、1つ見つけてみよう。

ワンポイント 地域のお祭りとして盆踊りが開かれる場所も多く、見学することができます。

書いて覚えよう

1. 家族といっしょに、お墓参りやお仏壇へのお参りをしてみよう。
2. きゅうりとなすで、精霊馬を作ってみよう。
3. 近くで盆踊りがあれば、見学や参加をしてみよう。

- 野菜を切るときや、つまようじを使うときは、大人といっしょに行いましょう。
- お墓や仏壇のお参りは、家族のやり方に合わせて、静かな気持ちで行いましょう。

地域によるちがい

お盆の時期や過ごし方は、地域によってさまざまです。

月遅れ盆

多くの地域

8月13日～16日ごろ

全国でもっとも多い時期

盆踊りが各地で開催

夏のお祭りとしても人気

旧盆・新盆

一部の地域

沖縄は旧暦で毎年時期が変わる

エイサーなど独自の行事も

東京都心部などは7月に行う所も

新暦にあわせた時期

ポイント

- どの時期・やり方が正しいということはなく、地域の気候や歴史に合わせて受けつがれてきた形です。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

お盆の過ごし方は、時代とともに少しずつ変わってきました。

昔

近所総出で盆踊りを楽しんだ

地域のつながりが強かった

家族総出でお墓参り・準備

時間をかけて行った

今

家族の形に合わせて簡略化

無理のない範囲で行う家庭も

帰省の代わりに連絡を取り合う

はなれていても思いを伝える

ポイント

- 形は変わっても、ご先祖様を思う気持ちは、今も昔も変わりません。

書いて覚えよう

A. そのような決まりはなく、家族の考え方によってさまざまです。

- 決まりが1つではないことも多いので、家庭や地域のやり方を確かめてみましょう。

マナーと注意点

お盆を気持ちよく過ごすための注意点を知ろう。

ポイント

- お墓参りでは、静かな気持ちでお参りし、他のお墓にも敬意をはらいましょう。
- 迎え火・送り火など、火を使うときは、大人といっしょに安全に行いましょう。
- 他のお家のお盆の行い方をむやみに比べたり、否定したりしないようにしましょう。

ワンポイント お盆の過ごし方に正解はひとつではありません。それぞれの家庭の形を大切にしましょう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材に出てきた言葉を確認しよう。

お盆の基本

☐ お盆

ご先祖様の霊をお迎えする行事

☐ ご先祖様

亡くなった家族や親族

☐ 盂蘭盆会

お盆のもとになった仏教行事

お迎えの言葉

☐ 迎え火

霊をむかえるためにたく火

☐ 送り火

霊を見送るためにたく火

☐ 精霊馬

きゅうりとなすで作る飾り

行事の言葉

☐ 盆踊り

霊をなぐさめる踊り

☐ 灯籠流し

灯籠を川や海に流す行事

☐ 盆だな

霊をお迎えする祭壇

暮らしの言葉

☐ 帰省

ふるさとに帰ること

☐ 月遅れ盆

8月に行うお盆

☐ 旧盆

旧暦で行うお盆

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、お盆がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|------|---|-------------------|
| 精霊馬 | ● | ● ア. 霊をなぐさめる踊り |
| 盆踊り | ● | ● イ. きゅうりとなすで作る飾り |
| 盆だな | ● | ● ウ. 灯笼を川や海に流す行事 |
| 灯笼流し | ● | ● エ. ふるさとに帰ること |
| 帰省 | ● | ● オ. 霊をお迎えする祭壇 |

2. 空らんをうめよう

1. お盆の初日にたく火を何という？ _____
2. お盆の最終日にたく火を何という？ _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. きゅうりで作る精霊馬は？ → （早く来てほしい / ゆっくり帰ってほしい）

書いて覚えよう

家族や友だちに話してみよう

学んだことを、身近な人に伝えてみよう。

伝える相手

お盆とは何か

いちばん伝えたい
こと

聞いてみたいこと

Emma の例

伝える相手 ホストファミリー／お盆とは ご先祖様をお迎えする行事／伝えたいこと 迎え火と送り火の意味／聞いてみたいこと 家族のお盆の思い出は？

ポイント

- 家族に「昔のお盆はどうだったか」を聞いてみると、新しい発見があります。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう

お盆を、英語で紹介できるようになろう。

お盆とは

Obon is a Japanese festival held in summer.

何をするか

Families visit graves and welcome the spirits of their ancestors.

特別な飾り

People make vegetable figures shaped like a horse and a cow.

Ken の例

Obon is a Japanese summer festival held in summer. Families visit graves and welcome the spirits of their ancestors. People make vegetable figures shaped like a horse and a cow.

ポイント

- むずかしい単語がなくても、知っている言葉で説明することが大切です。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

お盆のことを、もっと深く知るためのヒント。

もっと知りたい人へ

図書館で

お盆や仏教行事の本を探す

盆踊りへ

地域のお祭りに参加する

家族に

お盆の思い出やならわしを聞く

次のステップ

お月見

秋のもう1つの行事

お墓参り

作法をくわしく知る

地域行事

自分の地域のならわしを調べる

ポイント

- この教材の次は「お月見」。秋の夜空を楽しむ、もう1つの行事を学びます。

書いて覚えよう

3. 来年のお盆でやってみたいことは？

ご先祖様の話を家族から聞く

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

29

お盆チャレンジ

お盆の心を、日常でも大切にしてみよう。

聞いてみよう

家族にご先祖様のことを聞いてみる

作ってみよう

精霊馬をきゅうりとなすで作る

伝えよう

お盆の意味を誰かに説明してみる

こたえ

L22 盂蘭盆会

L28 精霊馬→イ 盆踊り→ア 盆だな→オ 灯笼流し→ウ 帰省→エ
迎え火 / 送り火

L31 (例) Obon is a time to honor ancestors.

L33 (例) お盆は、ご先祖様の霊をお迎えして感謝する行事。

書いて覚えよう

お盆 (Season 2 | No.17)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。